

[home](#)[Review / Preview](#)[Study](#)[Exhibition schedule](#)[Museum Search](#)[Art Word](#)[Present](#)[artscape Japan](#)

カスタム検索

Search all pages

Letter size

[home](#) [Review / Preview](#) [focus](#) [【Hong Kong】 Beyond Grassroots Activities - Hong Kong Art Ecosystem](#)**focus****【Hong Kong】 Beyond Grassroots Activities - Hong Kong Art Ecosystem**

Hasegawa Hitomi (Curator / Mika Video Archive Representative) August 01, 2017 issue

アートワードマッチ ON 6 cases

twitter でつぶやく

If the art ecosystem is three such as ① museum, ② market (art gallery, art fair, auction house), ③ small art space of grassroots and collective, Hong Kong will definitely compare to the other two fields. It can be said that the museum field in ① is weak. Hong Kong's contemporary art artists had only exhibitions at the Hong Kong Art Center or the Hong Kong Art Museum after announcing their earlier work in many non-profit spaces born by the Arts Council granted as a souvenir in the UK. Until now, is.



H Queen's

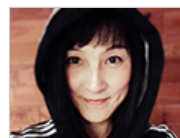
Courtesy of H Queen's, Hong Kong.

Museums to open continuously, increasingly active markets

来る2019年に開館予定の巨大**美術館「M+」**はアジアで最も大きな規模になる、野心的な**美術館**である。前年の2018年には、ジョッキークラブと政府運営のアートセンター、歴史的建造物を使った「**大館（タイクン）**」もオープン。旧繊維工場を使い、**テキスタイル**をテーマに展開予定の**MILL6**ファウンデーションの**アートセンター**は日本の高橋瑞木が共同ディレクターだ。すでにオープンしているものでは湾仔にあるコミックとアニメのミュージアム、コミックス・ホームベース、北角の「**オイル！（Oi!）**」など。また、昨年末の故宮博物館（パレス・ミュージアム）の西九龍での建設の発表は、多くの関係者を驚かせた。このように、公立、私設のアートセンターや**美術館**、博物館が次々とオープン予定だ。

いっぽう、アートマーケットについては2017年現在、香港はアジアで一人勝ちを続けていると言える。アート・パーゼンや、重要な**オークション**ハウスのアジア本社、ガゴシアン、ホワイトキューブ、ペロタンなどの大手ギャラリーはほぼ香港に一極集中している。今年の秋には、新たなギャラリービル「**H Queen's**」もオープン予定で、そこにはペース・ギャラリー、ハウザー・アンド・ワース、そしてDavid Zwirner 画廊もオープンすることになっている。工事中のビルのスクリーンには、チームラボやスプツニ子のビデオも展示され、人々の期待を高めている。

2015年の雨傘革命以降のトラウマや、北京が影響力を強める政治的な不安の一方で、香港のアートマーケット関係者の今後数年の予測に不安はない。

著者情報**Author****Hitomi Hasegawa**

Curator living in Hong Kong, director of MIACA to preserve and distribute visual works. Vienna Art · Academy late PhD course ...

To other articles by this author

Focus of August 01, 2017

- ・ [【Hong Kong】 Beyond Grassroots Activities - Hong Kong Art Ecosystem](#)
- ・ [Asking for "unknown treasury"](#)

To Focus Back Number

あのアーティストのあの名画をお手元に。



写真プリント品質の複製画販売 **A.L.P.S.** Artist Leaf Print Service

NATURE'S BEST PHOTOGRAPHY ASIA



NATURE'S BEST PHOTOGRAPHY ASIA 2017 CALENDAR

世界的自然フォトコンテスト
ネイチャーズベスト フォトグラフィーアジア
2018 カレンダー 発売!!

つまり、美術館と市場、2つのフィールドにおいて、香港は間違いなくアジアで最も重要な、コンテンポラリーアートの中心地になりつつある。



H Queen's
Courtesy of H Queen's, Hong Kong.

変わりゆく草の根活動

ここ数年新たなインディペンデント・スペースが3つ目のフィールドに彩りを与えている。なかでもスプリング・ワークショップやシングス・ザッツ・キャン・ハブン、100スクエアフィートパーク、ネプチューン、ホーリー・モーターズなど、その場所の特性やレジデンスなどの特徴を持つ興味深い活動をするスペースが次々とオープンした。これらはアーティストランであったり個人が私財を投じてほかの非営利と提携したりと、さまざまだ。

インディペンデントやオルタナティブといわれるスペースがたどる道のりは、彼らが活動を始めたばかりの実験的な段階を経て、ミニアートセンターになることだろう。海外の多くの成功したオルタナティブスペースがそうであり、香港ではバラサイトやアジア・アート・アーカイブ、ビデオタージュがその典型とも言える。彼らの3番目のエコシステムでの役割は終わり、現在は1番目のフィールドの、より細分化された特徴ある役割を果たすアートセンターとなっている。そのなかで、新たに設立されたスプリング・ワークショップやシングズ・ザッツ・キャン・ハブン、ネプチューンなどの存在は重要なものであった。しかし、彼らの活動は2017年、2018年に大きな変化をとげることになりそうだ。

スプリング・ワークショップ (Spring Workshop)

2012年、ミミ・ブラウンにより設立されたスプリング・ワークショップは、アバディーン工業ビル地域にある。ブラウンの設立の意図は、レジデンス施設と展示・イベントスペースなど、香港のアートシーンに必要と思われることのサポート、そしてアーティストの実験的なプロジェクトを人的、経済的な面から支え、そのアウトプットとしての展覧会まで行なうことである。その合間にも、出版企画制作、アーティストとの共同作品制作、ワークショップなどなど多岐にわたる。香港内外の非営利のほかのスペースともコラボレーションしている。その評価は国際的にも高く、2016年のブルデンシャルによるベストアジア現代美術機関にも選ばれた。そしてこれらの活動は当初から5年間という予定であり、2018年1月からは、方向性を変えてまた新たな活動を行なう予定だという。それは、コンテンポラリーアートのみに主眼を置いてきたこれまでの活動とは異なるようだ。



Winter discussion (2015) by HK Farm
Feb 8th 2015, photo by Hitomi Hasegawa, Courtesy of HK Farm and Spring Workshop.

■ ネプチューン

ネプチューンはアート・モダンのアジャクト・キュレーター、インティ・グレロが立ち上げた。柴湾という香港島の東の端の、地元の商店街を利用した特徴ある空間だが、こちらは2年限定で2018年までの活動予定だ。



Courtesy of the artist and Neptune, photo by Hitomi Hasegawa



Courtesy of the artist and Neptune

■ シングス・ザッツ・キャン・ハブン

サムスイポー（深水埗）地域の今年の変化は大きなものだ。ここは電気関係ははじめさまざまな問屋が露店を連ねる街で、香港の秋葉原とでもいった場所。そのなかで、いくつかのアートスペースがぼつぼつとでき始めたのは3年ほど前だ。シングス・ザッツ・キャン・ハブンはアーティストのリー・キット、元アジア・アート・アーカイブ（AAA）のシャンタル・ウォン、同じく元AAAのマリー・リーが設立したレジデンスとプロジェクトのスペースだが、今年中には、現在の場所はいったんクローズし、今後についてはまだ検討中である。もともとこの場所は香港の篤志家が期間限定で彼らに貸している場所なので、当初からの予定ではある。

■ 100スクエアフィートパーク

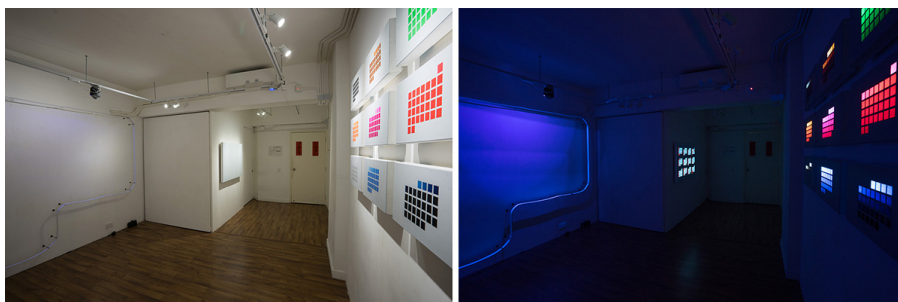
アーティストのサウス・ホーが運営する100スクエアフィートパークは、広さに限りのある香港の事情を逆手に取り、狭い空間を生かして地元の若手の作品を展示してきた。サムスイポーには、以前の香港島のスペースから引っ越して活動していたが、残念ながら2017年の6月にその活動を終え、クローズした。



Tang Kowk-hin "Child", 2016, photo by South HO



Ko Sin Tung and Stephanie Sin "FORM SIMULTANEITY", 2016, photo by South HO



Sim Chan "The Discovery of Time", 2017, photo by South HO

■ ホーリー・モーターズ (Holy Motors)

写真家のリューク・ケイシーとリサーチャーのミン・リンが運営するプロジェクトスペース、ホーリー・モーターズも今年でテナント契約が終わり、どうなるか注視されていたが継続の方向だという。ホーリー・モーターズは、バイクショップの店先の1畳ほどのショーウィンドーを使った展示空間。2016年3月にオープンしてからこれまで、香港内外のアーティストの8つの個展を開いてきた。都市空間の中で香港の歴史と街自体の特殊性をテーマに、公共空間に干渉する展示を行なう。自分たちの主なオーディエンスはこの街の一般の人々だ、とリンとケイシーは話す。サムスイポーにはほかに、ワンタンメンという共同オフィス兼カフェバーがある。



Zheng Mahler, Holy Motors #5: Deep Water, 2016.
Photo by Luke Casey, Courtesy the artist and Holy Motors, Hong Kong.



Nadim Abbas, Holy Motors #4, installation view, 2016.
Photo by Luke Casey, Courtesy the artist and Holy Motors, Hong Kong.

このようなアーティストなどが運営する小さなスペースでは、活動の内容が興味深いものであってもなかなか経済的には成功しにくい。また人的資源の確保も難しく、特にアーティストがスペース運営と自身の芸術活動を両立させることは困難をきわめる。しかし新しいエッジな活動をするアーティストがそのようなスペースで発掘されることによって、インスティテューションや市場のプレイヤーが彼らを発見することになる。このような活動は、つねに公的なインスティテューションや海外キュレーターなどへの“フィーダー”、つまり新しいアーティストたちの存在を知らしめる場所としても機能してきた。シングズでのオーシャン・ルン、ウォン・ピンらの個展が、その後の彼らの国際的な活動の発端となったのは香港のアート関係者の記憶に新しい。

■ ルーフトップインスティテュート／ザ・オフィス

現在は、新しい草の根の活動もいくつか始まっている。昨年から活動を始めたルーフトップインスティテュートは、海外アーティストとローカルアーティストのカップリングという実験

的レジデンスで、日本の下道基行も参加している。昨年始まったザ・オフィスはアーティストのオスカー・イック・ロン・チャンや、キュレーターでアーティストのチ・ハン・ジムスら5人のアーティストやキュレーターの共同オフィスで、ケネディタウンの取り壊し予定のビルを借りての活動のため、期間限定の空間となっている。いずれも、パブリックに恒常的に展示を見せる空間ではない。5月には新たにフォタンのアーティストがサムスイポーに**フォーム・ソサイエティ**というスタジオ兼ギャラリーをオープン、アーティストのタン・シウ・ワ、ヒム・ロウらが運営し活動を開始した。

香港のアートエコシステムはどう色づいてゆくのか

“継続は力なり”とは日本の諺だが、とにかく変化のめまぐるしい中国や香港にはあまりあてはまらない。草の根や非営利の小さなインスティテューションが当初からの期間限定、というのも、香港の家賃の高さや、美術を取り巻く環境が変化し続けていることから理解できる。また、そのような事情を踏まえ、とも期間を限定したフェスティブな活動には意義があるだろう。ただ、かかわる人々や知識も含めた展示やイベントのインフラ、そして観客が集まってつくり出すその場所というのは一朝一夕にはできない。その空間や活動が素晴らしいほど、なくなってしまうことが損失に思えるのは一部の関係者だけではないだろう。

今後グローバルな市場と**美術館**が巨大化してゆき、興味深い独立した芸術活動が縮小していくとしたら、若い層のアーティストたちは卒業展示や**美術館**の若手紹介展示のようなところからしか出て来られなくなるのだろうか。また、杞憂かもしれないが、これからの新たな表現を模索するうえで**美術館**のような保守的な展示空間のみでは、面白いものは生まれるのが困難ではないだろうか。

折しも、2017年は雨傘革命の焦点でもあった選挙の年であり、中国返還20周年でもあった。選挙では香港の人々に人気の高いと思われた対立候補を抑え、雨傘革命で学生たちと対立していたケリー・ラムが大勝、行政長官となった。20周年の記念式典には習近平国家主席が香港を訪れ、「中央の権力へのいかなる挑戦も絶対に許さない」と香港独立論を牽制した。また、2012年に学生らにより大規模な反対デモを引き起こした中国の愛国主義教育の強化、また国家安全条例制定に向けて動き始めているという。

Chris Patton, Admiral of the UK at the time of Hong Kong's return, who established the Hong Kong Arts Development Bureau and also worked on the development of the current nonprofit arts organization, said in an interview with Time magazine about the current Hong Kong. "Hong Kong is the most freely and wonderful city in Asia, not because of Beijing but because it was a British colony, it is the intention of Hong Kong people" (**A City Apart: Hong Kong Marks 20 years of Chinese Rule, Kevin Lui, Time 2017**).

As Hong Kong with independence and spirit of spirit rises regulations on expressions and speech from Beijing, it only provides the market of trading from the era of the earth and the period under British rule, losing the original color cultivated so far Does something that will happen? In 2017, while looking at the prosperity of the market and gigantic museums, we can not help seeing something symbolic as the grassroots intimate activities ended or changed.

▲ [To the top of the page](#)

[About artscape](#)

[Content List](#)

[Back number](#)

[e-mail magazine](#)

[Contact Us](#)

[Disclaimer](#)

[About the handling of personal information](#)

[About advertisement placement](#)



© 1996 - 2017 DAI NIPPON PRINTING Co., Ltd. All
rights reserved. All rights reserved.
Artscape / artscape is operated by Dai Nippon Printing Co., Ltd.
Artscape / artscape, art word / Artwords is a registered trademark of Dai Nippon Printing Co., Ltd.
artscape, Artwords are the registered trademarks of DAI NIPPON PRINTING Co., Ltd.